

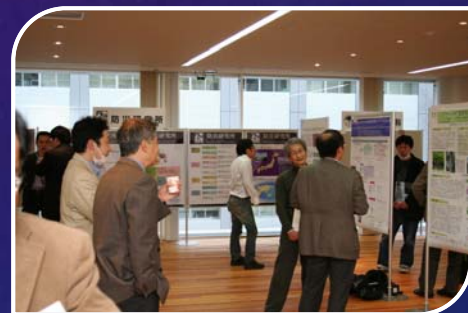
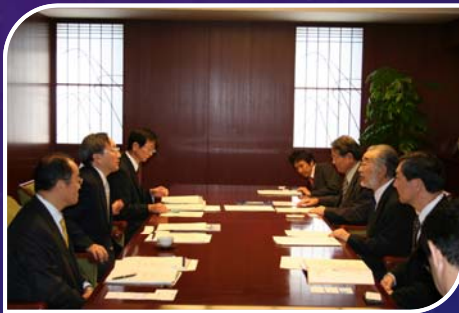
生存基盤科学研究ユニット研究成果発表会 グローバル生存基盤展開ユニットキックオフシンポジウム

日時：平成28年2月29日（月）10時～18時

会場：京都大学宇治キャンパス 総合研究実験棟 遠隔会議室（HW-401）



Institute of Sustainability
Science
to
Research Unit for
Development of Global
Sustainability



10:00～ 開 会

10:10～ Session 1 萌芽研究報告

防災研究所 松四雄騎 准教授
化学研究所 徳田陽明 准教授
生存圏研究所 梅澤俊明 教授
エネルギー理工学研究所 笠田竜太 准教授

生存基盤としての土層の寿命をはかる革新的アプローチの提案と検証
有機-無機コンポジット型プロトン伝導膜の創製
熱帯バイオマス生産における生物多様性確保と持続的生産・利用に向けた基盤構築
エコシステムあるいはエネルギーシステムの安定性に及ぼすスケール因子と寿命の影響に
関する研究

13:00～ Session 2 萌芽研究報告

化学研究所 柘植知彦 准教授
エネルギー理工学研究所 小西哲之 教授
東南アジア研究所 安藤和雄 准教授

白色LED光源を用いたエネルギーの効率的利用と有用物質生産を目指した基礎研究
海洋インバースダムを用いた持続可能性エネルギーシステムの社会適合性検討
バングラデシュにおける自然災害に対する防災・減災の経験知とその有効活用に関する
アクション・リサーチ ー生存基盤科学における地域研究の適用ー
持続可能な国土形成を維持するための海岸保全システムの提案

防災研究所 平石哲也 教授

14:40～ Session 3 萌芽研究報告

エネルギー理工学研究所 木村晃彦 教授
地球環境学堂 森晶寿 准教授
化学研究所 川本純 助教
東南アジア研究所 西瀨光昭 教授

生体内医療材料としてのODS鋼の適用性評価
エネルギー制約下における東アジアのエネルギー・気候変動政策と省エネ推進
生命を支える有用脂肪酸の生理機能解明に資する新規プローブの開発と応用
世界的な大流行の兆しを見せるデング熱の検査法の開発と現況調査

16:20～ Session 4 グローバル生存基盤展開ユニット外国人教員研究紹介

17:20～ 総合討論

17:50～ 閉 会

問合せ先： 実行委員長 松浦純生 TEL：0774-38-4936